

第四部 危険物、貯蔵タンク、漏出及び駆除剤

用語の定義

特に定めのない限り、これらの用語とその定義は本編の目的のためのものである。

地上設置型貯蔵容器 UST基準が免除されるものを含む一種のPOL貯蔵容器で、通常は地表又は地上に設置される。床上に設置され、保管庫又は地下室に収められたPOL貯蔵容器、埋設された容器、及び部分的に埋設された容器は、地上の貯蔵容器とみなされる。JEGS第12章の目的のためには、これには移動式又は固定式の構造物又はタンクが含まれる。

米軍有害生物管理委員会 (AFPMB) この組織は、国防省指示4715.1E「環境、安全及び労働衛生 (ESOH)」によって認可されており、国防省全体の有害生物管理に関連する全ての事項について、政策を推奨し、指導を行い、情報交換の調整を行う。

空港消火栓燃料分配システム 空港消火栓システムとも呼ばれ、特殊なUSTシステム的一种であり、通常は1つ以上の消火栓（充填スタンド）に終端する大口径の配管を用いて高圧で運転される。空港消火栓システムは、燃料がパイプライン、バージ、鉄道車両、その他の自動車燃料輸送業者などの外部ソースから1つ以上のタンクに入るところから始まる。

自動ラインリリース検出器 POL又は危険物質の配管経由の流れを制限又は遮断するか、可聴又は可視アラームを作動させることにより、オペレーターに漏れの存在を警告する配管の放出検知方法。

自動タンク計量器 POL又は危険物質の損失を計測し、在庫管理を行う装置。

地下貯蔵容器 完全に埋設されたPOL貯蔵容器の一種で、延期されたUSTを含むが、USTの定義を満たしていないか、UST所要事項から明確に除外されているため、JEGS第12章の全ての基準が免除される。JEGS第11章におけるPOL管理の目的のために、JEGS第12章のUST所要事項を免除された地下貯蔵容器のみが、“POL施設”の下で定義された集合したしきい値にカウントされる。

大容量ガソリンプラント パイプライン、船、バージ、カーゴタンクでガソリンを受け取り、その後ガソリンをカーゴタンクに積み込んでガソリン調剤施設に輸送するガソリン貯蔵・配給施設で、1日当たりのガソリン処理量が75,708リットル[20,000ガロン]未満のもの。

認定駆除剤散布者 駆除剤を散布する、又は国防省の職員の場合は見習い訓練中に駆除剤の使用を監督する、認定された個人。認定は、国防省規則4150.07の第1巻から第3巻に従って、国防省、米国の州、又は日本によるものでなければならない（ただし、適切な状況下ではHNの認定を受け入れる）。

クラスAオペレーター USTシステムの運転及び保守に主たる責任を有する者。通常、適用される要求事項への適合を達成し維持するために、作業割り当

【本文書は日本語仮訳です】JEGSは英語が正文です。日本語仮訳の用語が日本の関係法令上の用語と同一だとしても、その定義は必ずしも一致するとは限りません。

での確立など、資源及び人員を管理する。これは通常、システムの所有者、バルクターミナルのオペレーション監督者、又は現場の同等の管理者である。

クラスBオペレーター 適用される要求事項を実施する日常的な責任を負う個人。通常、USTシステムの運転、保守、及び関連する記録管理を現場で実施する。

クラスCオペレーター USTシステムからの流出又は放出による緊急事態に最初に対処する責任を有する者。通常、危険物質又はPOLの分配又は販売を管理又は監視し、一般的には主な業務として燃料を取り扱う作業員を含む。

封じ込め排水槽 封じ込め区域内の配管、ディスペンサー、ポンプ、及び関連部品からの危険物質又はPOLの漏れや流出を封じ込めて環境を保護する液密容器。封じ込め排水槽は、一重壁又は二重壁で、タンクの上部（タンクトップ又は水中タービン排水槽）、ディスペンサーの下（アンダーディスペンサー封じ込め排水槽）、又は配管の他の箇所（トランジション又は中間排水槽）に設置される。

汚染土壌 自然界に存在するレベルを超える物質を含む土壌で、人間の健康又は環境リスクをもたらす物質を含む土壌。

除染廃棄物 流出対応時に使用される機器や人員の汚染除去の際に発生する廃棄物で、ページ水、洗浄水、プラスチック容器、ボロ布、手袋やその他の個人用保護具を含むがこれらに限定されない。

ディスペンサー USTシステムから有害物質又はPOLを供給する地上に設置された機器。

ディスペンサーシステム ディスペンサーと、ディスペンサーをUSTシステムに接続するために必要な機器の両方を含む。機器には、逆止弁、せん断弁、埋設されていないライザー又はフレキシブルなコネクター、及びディスペンサーの下にあり、ディスペンサーを地下配管に接続するその他の従来のコンポーネントが含まれる。

除外される地下貯蔵タンク（UST）システム JEGS第12章の要求事項の対象とならないUSTシステム。

既存の地下貯槽（UST）システム 2016年4月11日以前に設置が開始されたUSTシステム。

現場施工型タンク（FCT） 現場で打設されるコンクリート製のタンクや、主に現場で製造されるスチール製又はファイバーグラス製のタンクなど、現場で建設されるタンク。

施設事故指揮官（FIC）（施設事故責任者） 施設現場調整官、事故指揮官とも呼ばれる。施設内又は近隣での国防省の活動に起因するPOL又は有害物質の流出の現場において、国防省の管理及び清掃活動を調整・指揮する、施設司令官により指定された政府職員。

施設対応チーム（FRT） 施設対応チーム、事故管理チームとも呼ばれる。FICが定義し指示した緊急機能を実行するチーム。

【本文書は日本語仮訳です】JEGSは英語が正文です。日本語仮訳の用語が日本の関係法令上の用語と同一だとしても、その定義は必ずしも一致するとは限りません。

ガソリンディスペンサー施設 (GDF) 自動車、自動車用エンジン、オフロード車以外の車両、又はオフロード車以外のエンジンの燃料タンクにガソリンを供給する固定施設。

一般二次封じ込め 最も可能性の高い日本の水域への排出を防止するための封じ込め及び迂回構造。これは能動的又は受動的のいずれかであり、典型的な故障モードと最も可能性の高い排出量を考慮する必要がある。

地下水モニタリング 地下水に含まれるPOL又は有害物質の試験又はモニタリング。

有害物質 物理的危険性、健康危険性、単純窒息死、可燃性粉塵、又は発火性ガスのいずれかの特性を示す物質、又は日本国政府の規制対象となる物質。JEGS表 10.1 参照。

危険物搬送 設置場所から設置場所外の最終目的地まで、又は設置場所外の出発点から設置場所内の最終目的地までの危険物の移動で、出荷の認証が関係するもの。

危険物警告ラベル 容器に貼られたラベル、タグ、マーキングで、材料とその危険性に関する情報を提供するもので、通常は製造者が提供する。

危険物質 報告可能な量が流出又は放出された場合に、人の健康や環境に深刻な害を及ぼす可能性のある物質のこと。JEGS表 16.3 にこれらの物質のリストとそれに対応する報告量が記載されている。有害物質には以下のものは含まれません。

(1) JEGS表 16.3 に危険物質として明確に記載又は指定されていない、原油POL又はその留分を含む石油。

(2) 天然ガス、天然ガス液、液化天然ガス、又は燃料として使用可能な合成ガス (又は天然ガスとそのような合成ガスの混合物)。

有害物質地下貯蔵タンク (UST) システム 有害物質 (JEGS第16章に定義されている有害廃棄物を含まない) 又はそのような有害物質とPOLの混合物を含むUSTシステムで、POL USTシステムではないもの。

有害廃棄物 固体、半固体、液体、又は含有気体である可能性があり、JEGSパラグラフ 16A.1 に詳述されている有害廃棄物の特性を示すか、又はJEGS表 16.2 から 16.5 に有害廃棄物として記載されている廃棄物をいう。家庭下水汚泥、家庭廃棄物、医療廃棄物は含まれません。

危険廃棄物貯蔵所 (HWSA) 国防省の施設内で、有害廃棄物が処理又は処分のために出荷される前に収集される場所。危険廃棄物貯蔵所では、各廃棄物の流れから、危険廃棄物の208リットル[55ガロン]ドラム缶、又は急性危険廃棄物の1リットル[1クオート]容器に相当する量を超えて貯蔵することができる。

危険物情報システム (HMIRS) 危険物に関する重要な情報を蓄積、維持、普及させるために開発されたデータベースの情報システム。

業界標準及び慣行 施設及び機器の設計、建設、設置、O&M、検査及び修理に関連する、適用可能な又は認識されている標準及び慣行。業界標準及び慣行

【本文書は日本語仮訳です】J E G Sは英語が正文です。日本語仮訳の用語が日本の関係法令上の用語と同一だとしても、その定義は必ずしも一致するとは限りません。

には、以下の組織によって制定されたものが含まれる：A P I、米国材料試験協会、N A C E インターナショナル、燃料機材協会及びS T I。

施設 国防省訓令 4 7 1 5 . 0 5 において定義される。

国際約束 国防省訓令 4 7 1 5 . 0 5 において定義される。

間隙モニタリング U S T システムと、その周囲又は直下の二次バリアとの間のモニタリング。

在庫目録管理 P O L 又は有害物質のトラッキングにより、タンクに入っているものと入っているべきものを比較し、P O L 又は有害物質の入出力とタンクの残量を調整する。

統合有害生物管理 (I P M) 有害生物や病気の媒介者が業務、人、財産、物資、環境に許容できない損害を与えることを防止するための、継続的な監視、教育、記録管理、コミュニケーションを組み込んだ計画的なプログラムのこと。I P M では、教育、生息地の変更、生物学的防除、遺伝子的防除、文化的防除、機械的防除、物理的防除、規制による防除、及び必要に応じて危険性の低い駆除剤の賢明な使用など、対象を絞った持続可能な（効果的、経済的、環境的に健全な）方法を用いる。

積込み及び積卸しラック タンク車又はタンクカーへの積込み及び積卸しに必要な固定構造物（例えば、プラットフォーム、通路）。荷役アームを含む。

移動式燃料補給機 車両に搭載された、又は車両に牽引された P O L 貯蔵容器で、航空機、自動車、機関車、船舶、地上サービス機器、又はその他の石油貯蔵容器に移送するための燃料を貯蔵し、移送するためにのみ設計又は使用されるもの。

月間処理能力 G D F においては、一つの G D F に設置されている全てのガソリン貯蔵タンクに積み込まれた、又はそこから払い出されたガソリンの総量。

新しいディスペンサーシステム 2 0 1 6 年 4 月 1 1 日以降に設置が開始されたディスペンサーシステムをいう。

新規の地下貯蔵タンク (U S T) システム 2 0 1 6 年 4 月 1 1 日以降に設置が開始された U S T システム。

オイル 石油、燃料油、潤滑油、動物性脂肪、植物性油、汚泥、P O L のごみ、浚渫土以外の廃棄物と混合された P O L を含むがこれらに限定されない、あらゆる種類又は形態の油。

油が充填された作業用機材 装置又は機器の機能をサポートするためだけにオイルが存在するオイル貯蔵容器（又は複数の容器）を含む機器。油が充填された作業用機材は、P O L 貯蔵容器とはみなされず、油が充填された製造機器（フロースループロセス）は含まれない。油が充填された操作用機器の例としては、油圧システム、潤滑システム（ポンプ、コンプレッサー、その他の回転機器用のもの、ポンプジャッキの潤滑システムを含む）、ギアボックス、機械加工用クーラントシステム、熱伝達システム、変圧器、回路ブレーカー、電気スイッチ、及び装置の動作を可能にするためだけに油を含むその他のシステムが挙げられるが、これらに限定されるものではない。

【本文書は日本語仮訳です】JEGSは英語が正文です。日本語仮訳の用語が日本の関係法令上の用語と同一だとしても、その定義は必ずしも一致するとは限りません。

過剰充填防止装置 タンクが満杯に近づくと、製品の流れを止めるか、製品の流れを制限するか、又はアラームで配送業者に警告する装置。

有害生物管理コンサルタント 有害生物や病気の媒介者を予防・駆除するためにIPMを用いて技術的・管理的な指導を行う国防省の有害生物管理の専門家。AFPMBディレクターは、有害生物管理コンサルタントを、駆除剤散布者の認証官として承認する。

駆除剤 有害生物を予防、破壊、撃退、軽減する可能性のある、又は植物調整剤、枯れ葉剤、乾燥剤、消毒剤、殺生物剤として使用される生物防除剤を含む、あらゆる物質又は物質の混合物。

駆除剤廃棄物 駆除剤の廃棄制限の対象となる物質で、以下を含む。

- (1) 米国又は適切な政府機関の権限下で中止され、安全に使用することができないと有害生物管理コンサルタントが確認したあらゆる駆除剤。
- (2) 仕様に適合しない、汚染されている、不適切に混合されている、その他濃縮又は希釈されているかにかかわらず使用できない駆除剤。
- (3) 駆除剤のこぼれを清掃するために使用される全ての材料。
- (4) 駆除剤で汚染された容器、機器、材料。

有害生物 節足動物、鳥類、げっ歯類、線虫、真菌、細菌、ウイルス、藻類、カタツムリ、海洋生物、ヘビ、雑草、その他の生物（人や動物の病気を引き起こす生物を除く）で、即応性、軍事活動、人員や動物の福利に悪影響を与え、不動産、物資、設備、植生を攻撃又は損傷し、その他の点で望ましくないもの。

パイプライン施設 新規及び既存のパイプ、パイプラインの通行権、補助装置（例：バルブやマニホールド）、及びPOLの輸送に使用される建物又はその他の施設を含む。

石油、油、及び潤滑油（POL） 石油、燃料、潤滑油、合成油、鉱物油、動物性油脂、植物性油脂、汚泥、浚渫土以外の廃棄物と混合されたPOLを含むがこれらに限定されない、精製されたPOL。

石油、油、及び潤滑油（POL）施設 以下を有する施設。

- (1) 地上の貯蔵容器の総容量（地下の貯蔵容器を除く）が5,000リットル[1,320ガロン]以上で、容量が208リットル[55ガロン]以上の容器のみをカウントしている施設、又は
- (2) 合計の地下貯蔵容器の容量が159,091リットル（42,000ガロン）以上のもの。
- (3) パイプライン施設

石油、油、及び潤滑油（POL）貯蔵容器 容量が208リットル[55ガロン]以上の容器。移動式及び固定式の容器、ならびに地上及び地下に設置された容器を含む。JEGS第12章のUSTに関しては、JEGS第12章の全ての要求事項を満たすことが求められるUSTは、POL貯蔵容器の定義から除外される。動力用容器（車両燃料タンク）、一戸建て住宅でのみ使用される暖房用油の容器、駆除剤散布装置及び関連する混合物の容器、及び牛乳／乳製品の容器も除外される。

【本文書は日本語仮訳です】JEGSは英語が正文です。日本語仮訳の用語が日本の関係法令上の用語と同一だとしても、その定義は必ずしも一致するとは限りません。

登録駆除剤 米国又は日本国内で販売又は使用するために登録及び承認された駆除剤。

放出検知方法 STシステムから有害物質又はPOLの環境への放出が発生したかどうか、あるいはUSTシステムとその二次バリア又は二次封じ込めの間隙に漏れが発生したかどうかを判断するための方法、又は方法の組み合わせをいう。放出検知の方法には、自動ライン放出検知器、自動タンクゲージング、地下水モニタリング、間質性モニタリング、及び在庫管理が含まれる。

修理 JEGS第12章のUSTに関連して、USTシステムからの製品の放出の原因となった、又は適切に機能しなくなった、タンク、配管、流出防止装置、過充填防止装置、腐食防止装置、放出検知装置、又はその他のUSTシステム構成要素を、適切な動作状態に戻すこと。

交換すること JEGS第12章におけるUSTの文脈では、タンクを交換するとは、別のタンクを取り外して設置することを意味する。配管を交換するとは、1つのタンクに接続されている50%以上の配管を取り除き、コネクタを除く他の配管を設置することを意味する。複数の配管があるタンクの場合、この定義は各配管に独立して適用される。

安全な吸引配管 以下の基準を満たすように設計、構築され、容易に判断できる配管。大気圧以下で作動する床下配管は、吸引が解除された場合に配管の内容物が貯蔵タンクに逆流するように傾斜しており、各吸引ラインには1つのチェックバルブのみが含まれており、チェックバルブは吸引ポンプの真下、できるだけ近くに配置されている。

安全データシート (SDS) 化学製品の製造者や輸入者が、特定の製品の化学的・物理的特性や危険な影響をユーザーに伝えるために作成する用紙。以前は製品安全データシート (MSDS) と呼ばれていた。

二次封じ込め又は二次的封じ込め

(1) JEGS第11章のPOL基準及びJEGS第13章の漏出基準との関連では、一次封じ込めが失敗した場合に、排出されたPOLの一時的な封じ込めを提供するシステム。これは、適切な措置が取られるまで、POLの転移を防止することを意図している。二次封じ込めには、不浸透性の堤防、防波堤若しくは擁壁、縁石若しくはドリップパン、排水槽若しくは回収システム、カルバート若しくは側溝、堰、ブーム若しくはその他の障壁、漏出分流池、貯留池又は吸着材が含まれる。二次封じ込めには、一般的なものと大きさの異なるものの2種類がある。

(2) JEGS第12章のUST基準では、タンク又は配管の放出防止の形態。二次封じ込めシステムは、漏洩を監視することができる間隙のある内側と外側のバリアを持ち、配管の間隙監視に使用される場合には封じ込め排水槽を含む。二次封じ込めは、一次封じ込めから漏洩した有害物質又は汚染物質を、それらが検出され除去されるまで封じ込めることができなければならない。また、USTシステムの運転期間中、いつでも有害物質又は汚染物質の環境への放出を防止しなければならない。

【本文書は日本語仮訳です】J E G Sは英語が正文です。日本語仮訳の用語が日本の関係法令上の用語と同一だとしても、その定義は必ずしも一致するとは限りません。

構成機関 構成機関と個人、ユニット、分遣隊、組織、施設など、すべての部隊から構成される司令部。さらに下位の統一司令部又は統合任務部隊に配属された支援部隊を含む。

重大な漏出

(1) J E G S表 16.3 に記載された結果として特定された有害廃棄物又は有害物質については、その表に記載された報告量を超える量。

(2) 416 リットル[110 ガロン]を超える P O L 又は液体若しくは半液体の危険物、危険廃棄物、又は有害物質の場合。

(3) 225 キログラム (500 ポンド) を超えるその他の固体危険物の場合。

(4) P O L と液体、半液体、固体の危険物、危険廃棄物、危険物質の組み合わせで、340 キログラム (750 ポンド) を超える場合。

(5) 流出物が不浸透性の防波堤内、非多孔性の表面、又は建物内に封じ込められ、揮発せずに浄化された場合、その流出物は封じ込められた放出とみなされ、重大な流出物とはみなされない。

標準型二次封じ込め P O L 貯蔵容器の全容量に加え、十分な余分容量を収容することができる不浸透性 (透過率が毎秒 10^{-7} センチメートル以下) の二次封じ込め手段。

特定地下貯蔵タンク (U S T) システム “事前保留された U S T システム”とも呼ばれる。空港の消火栓による燃料分配システム及び F C T を有する U S T システムで、事前に U S T 所要事項から保留されていたもの。

漏出 人の健康や環境に有害とみなされる固体、液体、気体物質の不注意又は不正な放出。

漏出防止装置 配送ホースが充填管から取り外された際に発生する小さな滴やこぼれを受け止める充填管周辺の封じ込め物。この容器は通常、漏出バケツ、流域、又は漏出封じ込めマンホールと呼ばれる。配送ホースが充填パイプから外れたときにこぼれてしまうものを受け止めるのに十分な大きさでなければならない。

規格 米国内の国防省の施設、設備、行動に適用される米国の法律及び連邦規則の実質的な要素で、域外適用されるもの、又は米国外の施設で人の健康と環境を保護するために必要と判断されるもの。

貯蔵容器 石油の貯蔵に使用されるタンク、リザーバー又は容器。ただし、以下は含まれない。

(1) 緊急時を除き、103 k P a [15 p s i a] を超えるゲージ圧で作動し、大気への放出がないように設計された圧力容器。

(2) 地下の洞窟又は多孔質岩の貯留層。

(3) プロセスタンク。

搬送エリア 搬入・搬出エリアとも呼ばれる。固定された荷役棚以外で、P O L 貯蔵容器との間で P O L の荷役が許可されているあらゆる場所。

合衆国 国防省訓令 4715.05 において定義される。

地下貯蔵タンク（UST）システム POL製品又は危険物質を貯蔵するために使用されるタンク及び接続された地下配管で、接続された配管の容積を含めて、その容積が地表から10%以上の高さにあるものをいう。

を含む。

(1) 貯蔵されている敷地内での消費に使用される暖房用オイルを含むタンク。これらのタンクは地下貯蔵タンクとみなされ、所要事項についてはJEGS第11章を参照のこと。

(2) 浄化槽。

(3) 雨水又は廃水の収集システム。

(4) 貫通型プロセスタンク

(5) 地表貯水槽、ピット、池又は干潟。

(6) アクセス可能な地下エリア（例：地下室、金庫室）に設置された貯蔵タンクで、貯蔵タンクが床面上又は上に設置されている場合。これらのタンクは、地上式貯蔵タンクの定義を満たす。

(7) USTシステムとはみなされないタンクに接続されているあらゆる配管。

タンクやラインの気密性テスト 放出の原因となりうるタンクやラインの破損を特定するための試験。さまざまな方法があるが、全ての気密試験は、製品の熱膨張又は収縮、ベーパーポケット、タンクの変形、蒸発又は凝縮、水位の位置などの影響を考慮しながら、日常的に製品を収容しているタンク又はラインのあらゆる部分からの漏れを検出しなければならない。

蒸気バランスシステム 荷下ろし用のガソリンカーゴタンクの蒸気空間と荷受け用の貯蔵タンクとの間に閉じたシステムを作るパイプとホースの組み合わせで、貯蔵タンクから排出された蒸気を荷下ろし用のガソリンカーゴタンクに移すもの。ベーパーモニタリング。掘削区域の土壌ガス中の蒸気を試験又は監視すること。

廃水処理タンク 物理的、化学的、又は生物学的な方法で流入する廃水を受け入れて処理するように設計されたタンク。

日本の水 慣習国際法で認められている領海を含む表流水。

(1) 現在使用されている、過去に使用されていた、又は商取引に使用される可能性のある全ての水。

(2) レクリエーション又はその他の目的のために使用されている、又は使用されうる水域。

(3) 魚介類の採取・販売が行われている、又は行われる可能性のある水域。

(4) 産業界が工業目的で使用している、又は使用する可能性のある水域。

(5) 湖、川、小川（断続的な川を含む）、沼地、プレーリーポス又は自然の池を含む水域。

(6) この定義で特定される水域の支流。

【本文書は日本語仮訳です】J E G Sは英語が正文です。日本語仮訳の用語が日本の関係法令上の用語と同一だとしても、その定義は必ずしも一致するとは限りません。

(7) 日本の水に対する除外事項は、J E G S第9章の所要事項を満たすように設計された処理池又はラグーンを含む、家庭又は産業廃棄物処理システムである。この除外は、元々日本の水ではなく、また日本の水のインパウンドメントから生じたものでもない人工的な水域のみに適用される。

最悪事態排出 (WCD) J E G S付録 13A のWCD計画量基準を参考にして決定される、悪天候下での施設からの最大の予見可能な排出量。

【本文書は日本語仮訳です】JEGSは英語が正文です。日本語仮訳の用語が日本の関係法令上の用語と同一だとしても、その定義は必ずしも一致するとは限りません。

第4部：危険物、貯蔵タンク、漏出及び駆除剤

略称

AFFF	水性膜泡消火剤
AFPMB	米軍有害生物管理委員会
API	米国石油協会
DLAI	国防兵站庁指示
DoDD	国防省指示
DoDI	国防省訓令
DoDM	国防省規則
DTR	防衛輸送規則
FC T	Field-Constructed Tank
FGS	最終管理基準
FIC	施設事故指揮官
FRT	施設対応チーム
GDF	ガソリンディスペンサー施設
GOJ	日本国政府
HMIRS	有害物質情報リソースシステム
IPM	統合有害生物管理
JEGS	日本環境管理基準
kPa	キロパスカル
LEC	環境司令官
MCO	海兵隊命令
NAVSUP PUB	海軍補給システム司令部出版物
ng/L	ナノグラム毎リットル
O&M	運用及び維持管理
OSD	国防長官府
PFOA	ペルフルオロオクタン酸

【本文書は日本語仮訳です】J E G Sは英語が正文です。日本語仮訳の用語が日本の関係法令上の用語と同一だとしても、その定義は必ずしも一致するとは限りません。

2 0 2 2 J E G S

日本環境管理基準

P F O S パーフルオロオクタンスルホン酸

P O L 石油・油・潤滑油

p p t 10億分の一

psia pounds per square inch absolute

S D S 安全データシート

S T I 鋼製タンク協会

T M テクニカルマニュアル

U F C 統合施設基準

U S F J 在日米軍

U S T 地下貯蔵タンク

W C D 最悪事態排出